



## 一般国際競技会ルール

競技参加者は以下のカテゴリーに申し込む事が出来る：

- ハンドストリッピング
- スパニエル&セッター
- プードル
- その他ピュアブリードのシザリング
- 商業グルーミング\*
- ビギナー-1年未満の経験者。（ドッグショー経験も年数に含まれます。）\*  
最初の1年は勝敗に関係なくビギナーの複数クラスに参加出来ます。2年目以降は勝敗関係なく、オープンクラスでのエントリーになります。

\* これらのクラスはベストインショーの対象から外れます。

カテゴリー別には以下の2つのクラスのどちらかに参加出来ます：

1. オープンクラス - 同一カテゴリー内で入賞した事がない競技者はオープンクラスです。また優勝するまではこのクラスでのエントリーになります。
2. チャンピオンクラス - 同一カテゴリー内で優勝した事のある競技者はチャンピオンクラスでのエントリーになります。チャンピオンクラスのエントリーが5名以下の場合にはクラス不成立となり、競技者はオープンクラスでのエントリーとなります。

## 特記情報

- 競技者は自分でモデル犬を用意しなければいけません。
  - 競技者は自分でグルーミングの道具を用意しなければいけません。
  - 主催者はグルーミングテーブルを用意します。
  - 競技者はプリジャッジングの為に競技開始30分前にはリングに入っていること。
- それぞれのカテゴリーの各クラスでは3位までを決定します。



## 制限時間

### ハンドストリッピング（クリッパー不使用）

- スモールとミディアムサイズ 2 :30 hours
- ビッグサイズ 3 hours

### ハンドストリッピング（クリッパー使用）

- スモール 2 hours
- ミディアム 2 :15 hours
- ビッグサイズ 2 :30 hours

### スパニエル&セッター

セッター全種、アメリカンコッカー、  
イングリッシュコッカー、スプリンガー 2 : 30 hours

### プードル\*

35 cm まで 2.00 hours  
35 cm ～ 45 cm 2:15 hours  
45 cm 以上 2:30 hours

### ピュアブリード

ビション、ベドリントン 2:00 hours  
ケリーブルー、ソフトコートドウィートン、  
ブラックロシアン、ブービエ 2:30 hours

### 商業グルーミング\*

スモールブリード 1.30 hours  
ミディアムとビッグブリード 2:00 hours

\* 足先、マズルと尾を競技前にグルーミングした時は、持ち時間が15分短縮されます。



### グルーミングの規定に関して

犬はあらかじめ洗っておく事。（ハンドストリッピング犬種を除く）

耳や尾、犬のサニタリーエリア等それぞれのブリーディングスタンダードに従って前もってグルーミングしておくこと。

犬の毛は最低8週間伸ばされてる必要があり、プードルは最低5センチの長さであること。

前のグルーミングの際について明らかなラインやパターンは消えている事。犬のコートの長さはグルーミングの前と後では明らかに差異がわかる程度の長さであること。

犬のコートに適合した手法であればあらゆるグルーミングのテクニックは許可される。

### ハンドストリッピング・スパニエル&セッターのカテゴリー

ストリッピングナイフは使用してよい。

犬はそのブリーディングスタンダードに従ってグルーミングされなければいけない。

（色の）チョークパウダー、ブロック、スプレー、クリームは使用してよい。

以下の場合以外はクリッパーを使用してはいけない：

スコティッシュテリア-チェスト、ヘッド、イヤー

ウエスハイランドテリア-チェスト、イヤー

コッカー&セッター-チェスト、イヤー

シュナウザー-チェスト、ヘッド、後肢の内側、イヤー

### プードル・ピュアブリードのカテゴリー

犬はシャンプードライを終わらせている事。

マズル、足先、尾は最低二週間毛を伸ばしていること。

プードルはブリードスタンダードと認められたスタイルにグルーミングされること。

プードルにトップノットを作る場合はプラス15分の延長時間となり、その際は犬の保定のために外部の人に手助けを頼んでよい。

カラーリングは禁止。

### 商業グルーミングカテゴリー

FCIで認められた全てのブリードを商業的にグルーミングする場合。このクラスでは通常ストリッピングをするブリードであってもシザリングやクリッパーで仕上げる事が出来ません。

カラーリングは禁止。



## **競技時間の競技終了に関して**

競技者はグルーミングテーブル上から落ちた毛やグルーミングに関する道具全てを片付けること。審査員の審査のためにコーム一本のみテーブルに残すこと。

競技者は評価のためにジャッジの前後に犬にコーミングをしてもよい。

競技者はジャッジに見せるために犬をスタックしなければいけない。ジャッジが終了した場合はアナウンスがあるので競技者は犬をリラックスさせる事が出来ます。

## **審査について**

審査員はプリジャッジとファイナルジャッジの間それぞれの犬を以下の点を考慮しながら審査します：

- そのモデル犬に合ったスタイルが選ばれているかの適合性
- クリップの難易度
- 欠点のカモフラージュや美しさをより強調できる能力
- 現代に即した最先端のグルーミングスタイル。
- 現在のブリードスタンダードへの重視度\*
- コーミングをしてからの、シザリング、シェービング、ストリッピングの質
- バランス、シンメトリー、なめらかさ
- ジャッジへの犬のプレゼンテーション力

\*例としてはアメリカやスカンジナビアンスタイルなど国によつての違いも考慮されます。

## **プードル**

クリッパーワークの質。例えば、足先、顔、テールは適切なブレードでクリッピングされているか、また全てのクリッピング技術、口、目、パッドの周りなど毛が残っていたりせずスムーズでなくてはならない。

## **ハンドストリッピング**

ピンク色の禿げた部分が無い事。痛みが無いように毛並みに沿って毛が抜かれている事。ハンドストリッピングが行われてから、カーディングツールでアンダーコードが除去される事。コンテストまでのコートローリングは良いが、会場では犬の外見に顕著な違いがわかるのに十分である事。

もし頭部、耳、ネック前部、後肢の内側など柔らかいけの部分にクリッパーを用いる場合は、適切なブレードで丁寧でスムーズにトリムされている事。クリッパーワークはファーに寝具やフェザリングでスムーズにブレンディングされていて、突き出たような箇所が無い事。

**過度のシザリングは減点対象となります。**

## **ピュアブリード・スパニエル&セッター**

スキバサミを使用する場合：スムーズにブレンディングされていて、自然な外観である事。いかなる場合のジャッジの決定が最終となります。



## ポイント (得点)

4つのカテゴリー（ハンドストリッピング、スパニエル&セッター、プードル、その他ピュアブリード）において、得点方式で審査します。

それぞれの審査員は1位と思うものに10点、2位には8点、3位には6点、4位には4点を付けます。

審査員は競技中には審査に関することではほかの人と意見を交換することは許されません。

それぞれの審査員がプレースリストを提出し、全ての審査員の点数を合計した後、審査委員長がそのリストを受け取ります。同点が出た場合は審査委員長が審査員と話し合い最終決定リストを作ります。

## ハンドリング

競技者が犬を乱暴や危険な扱い方をした場合は審査員が警告します。2度目の警告で失格となります。

クリッパー焼けや傷を犬につけた場合は入賞対象外となります。

審査員に対して乱暴で攻撃的な言葉を発した場合、失格となる場合があります。

## ベストインショー

競技会主催者の決定により、審査員パネルの中の“オールラウンド”ジャッジがBISを決めることができます。

**競技に参加する競技者は上記の規則の全てに従うものとされます。**